

ご多用の中、学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。令和3年度の集計結果をご報告いたします。なお、自由記述でもたくさんの貴重なご意見をいただきました。実践できることについては、積極的に取り入れて改善を図ってまいります。

■ Aとても思う ▨ Bだいたい思う ▩ Cあまり思わない ■ D思わない

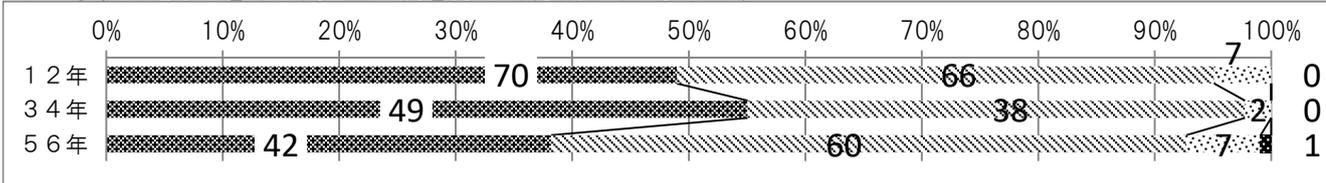
A. 児童による自己評価

調査期間 令和4年1月14日～20日 集計総数342名（欠席3名）実施率99%

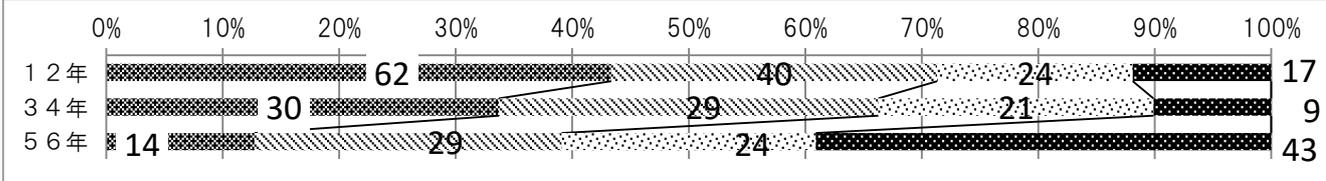
※ 数字は、各学年の回答数です。

1. 安全安心な学校

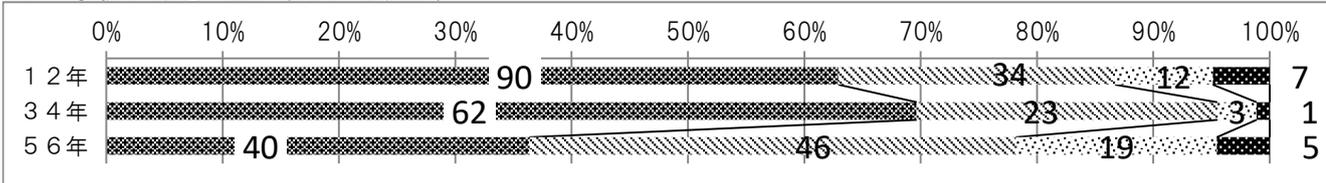
Q1 学校のきまりを守り、安全に気を付けて行動していますか。



Q2 悩みや困っていることを先生などに相談していますか。

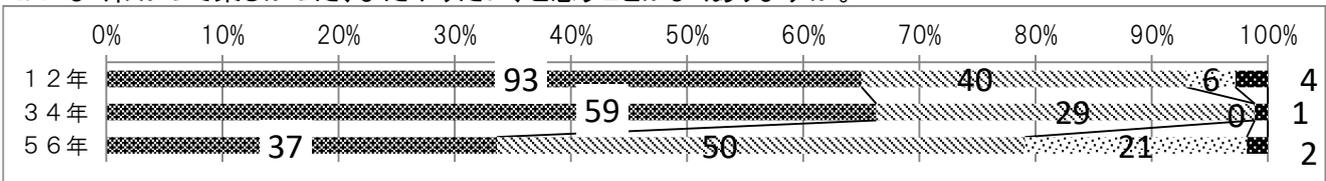


Q3 学校に来ることが楽しいですか。

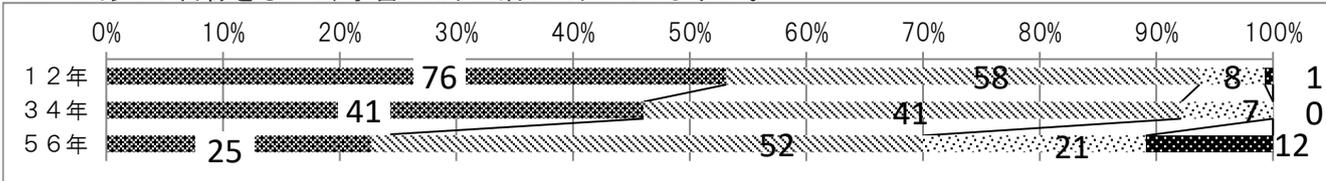


2. 新しい教育課程 ～知・徳・体の調和～

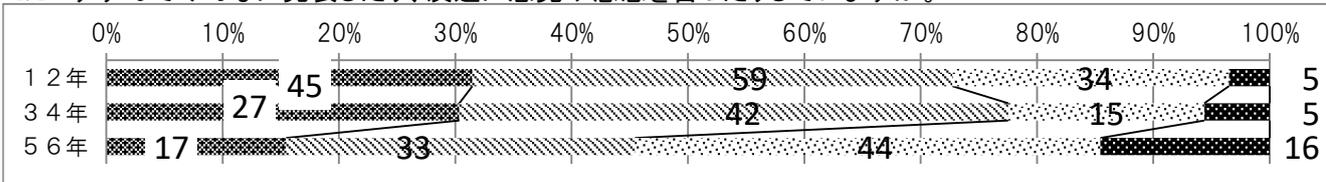
Q4 よくわかって楽しかった、またやりたい、と思うことがよくありますか。



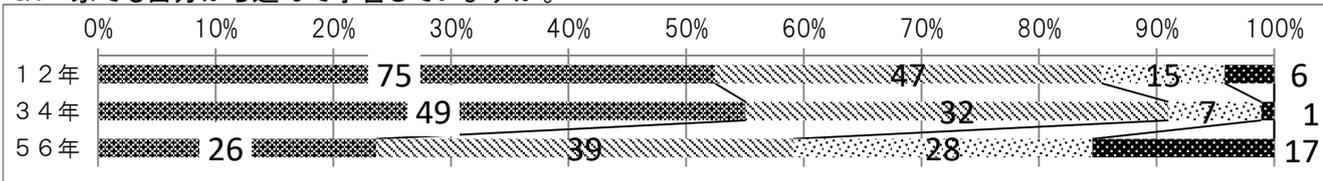
Q5 めあてや目標をもって、学習したり生活したりしていますか。



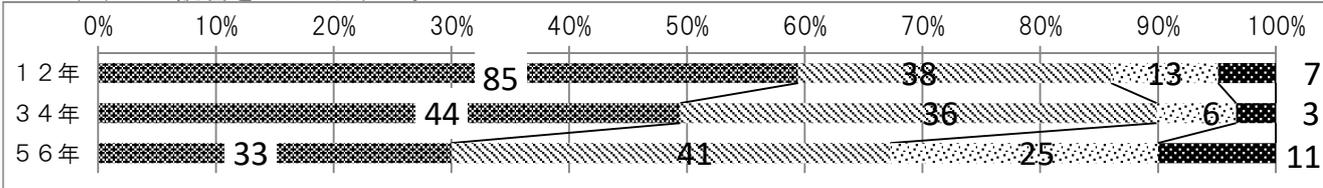
Q6 すずんでみんなに発表したり、友達に意見や感想を言ったりしていますか。



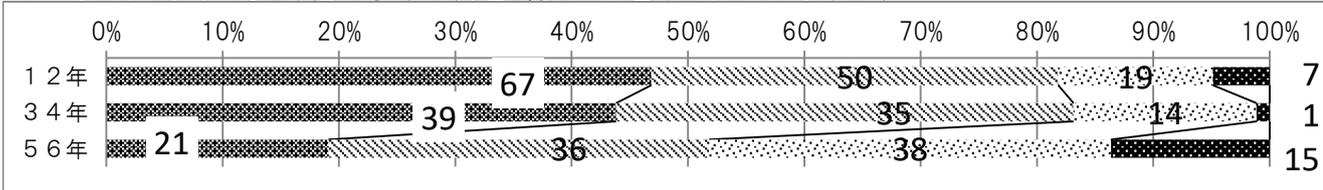
Q7 家でも自分から進んで学習していますか。



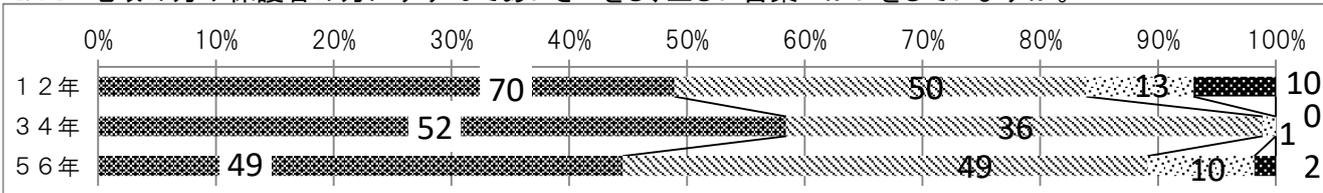
Q8 すすんで読書をしていますか。



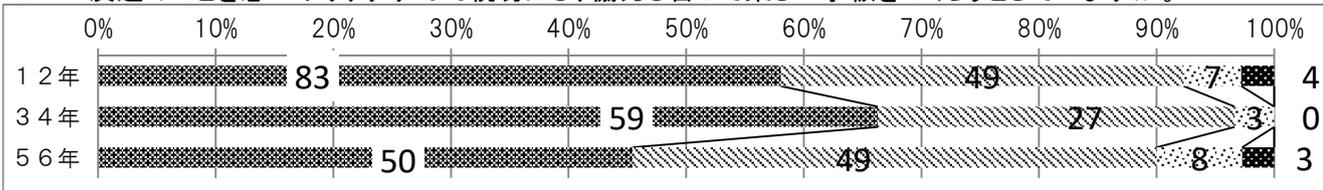
Q9 なかよしタイムなど、他の学年の友達と話したり遊んだりしていますか。



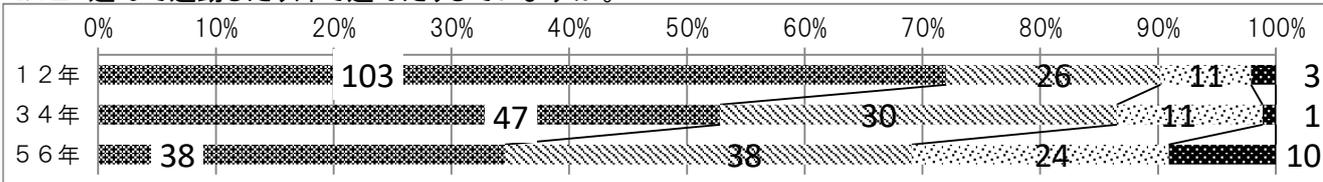
Q10 地域の方や保護者の方にすすんであいさつをし、正しい言葉づかいをしていますか。



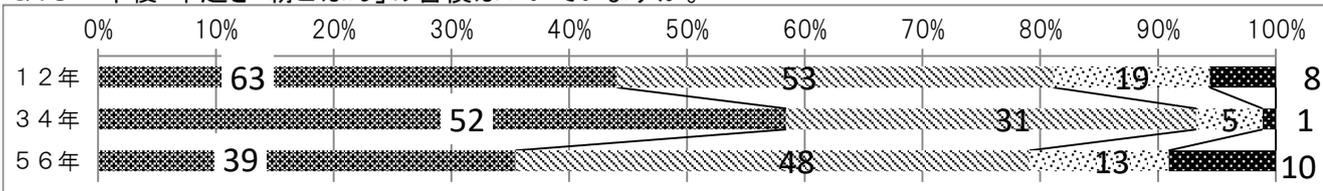
Q11 友達のことを思いやり、すすんで親切にし、協力し合って楽しい学級をつくろうとしていますか。



Q12 進んで運動したり外で遊んだりしていますか。

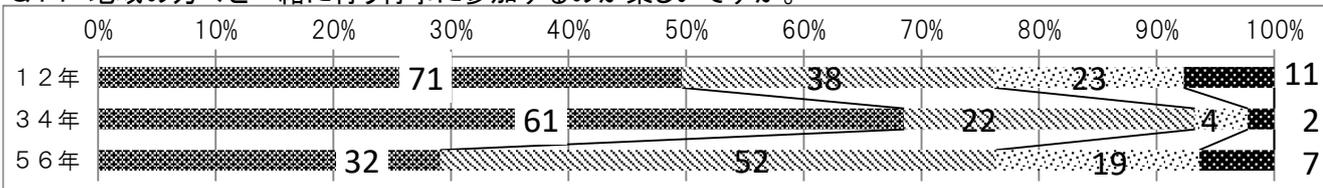


Q13 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣はついていますか。



3. 外に開かれた学校・地域との連携

Q14 地域の方々と一緒に行う行事に参加するのが楽しいですか。



1. 安心・安全な学校

「Q1. きまりを守り安全に気を付ける」では、「とても思う」「だいたい思う」が90%以上。引き続き、避難訓練や安全指導をはじめ、日常生活での約束事やマナーについて、場面ごとに指導をしていきます。

「Q2. 困っていることを先生に相談する」では、低・中学年では「とても思う」「だいたい思う」が70%以上。しかし高学年は40%以下。学年が進むにつれて大人に話づらくなりがちです。教師への信頼関係をより深めていくために、子供が心を開き安心して相談できる環境を積極的に提供する、『子供と担任の全員個人面談』を行う、学年の教師・専科教師・養護教諭・心の相談員・スクールカウンセラー・事務主事など、教職員全員が子供たちの相談相手になる、等を実践してまいります。

「Q3. 学校に来ることが楽しい」では、「とても思う」「だいたい思う」が低学年で80%以上、中学年で90%以上、高学年で約70%。一方「思わない」が一定数います。コロナの状況で我慢の日々ですが、学び高まる楽しさ、かかわる楽しさをたくさん経験させるとともに、教師が一人一人とかわかって悩みや不安を和らげ、さらに楽しい学校生活を送れるようにしていきます。

2. 新しい教育課程 ～知・徳・体の調和～

「Q4. よくわかって楽しい、またやりたい」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年では90%以上、高学年では80%以上。その中で「とても思う」が低・中学年は60%以上、高学年は40%以下。算数科の校内研究を中心とした取組で、全学年で「とても思う」と感じる子供をさらに増やせるようにしていきます。

「Q5. めあてや目標をもって生活する」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年で90%以上、高学年で約70%。めあてや目標をもつことの大切さは、今年もことある度に子供たちに呼びかけてきました。引き続き日常から投げかけ、全学年で「思わない」をなくし、高学年以上でも高い意識をもたせていきます。

「Q6. すすんで発表し、意見や感想を言う」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年で70%以上、高学年では約40%。すすんで発表し意見を言うことは、本校児童の課題でもあります。日常の学習の中で全ての子がすすんで発表できる場を設定し、成功体験を積み重ねて称賛し、さらに高い意識をもたせていきます。

「Q7. すすんで家庭学習する」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年では90%以上、高学年で約60%。ほとんどの子が家庭学習が定着していますが、学年が進むと家庭学習が面倒になるのは正直な反応でもあります。学校での学びを家庭学習で習熟する重要性を指導した上で、家庭と連携し、児童の意識を高めていきます。

「Q8. すすんで読書をする」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年では約90%以上、高学年では60%以上。学年がすすむにつれて割合が低下し、「思わない」の児童も一定数いました。これらは本校児童の課題でもあります。読書週間等での取組だけでなく、きたえ読書での読書時間確保、学級での読み聞かせなど、日常的な読書環境の整備をしていきます。

「Q9. 他の学年の友達と話したり遊んだりする」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年では約80%、高学年で約50%。「思わない」という児童も一定数いました。今年はコロナのため、活動に制限があり、行事、クラブ、委員会、仲よしタイムなど、例年通りの計画が実施できなかった活動が多数ありました。しかし、子供たちの意識を高く保っていたことには価値があったと考えています。縦割りの交流は本校の特色の一つです。コロナが終息次第、さらに異学年交流を充実させていきます。

「Q10. すすんであいさつをし、正しい言葉づかいをする」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・高学年で80%以上、中学年で90%以上。多くの子供たちがあいさつと言葉遣いに高い意識をもち、節度をもった優しい心で生活していることがうかがえました。一方、後に述べますが、【保護者による評価】はそれほど高い評価ではありませんでした。教師自身が手本となりながら、子供たちに繰り返し声をかけて促し、人と人との関わりを実感させながら言語環境を整えていきます。

「Q11. 思い遣り、親切にし、楽しい学級をつくる」では、「とても思う」「だいたい思う」が低・中学年で約90%以上。児童が仲よく生活していることがうかがえました。引き続き思い遣り親切の心を育てていきます。

「Q12. すすんで運動する」では、低学年では「とても思う」が70%以上、「だいたい思う」を含めると約90%。中学年では、「とても思う」が約50%、「だいたい思う」を含めると80%以上。高学年では、「とても思う」が約30%、「だいたい思う」を含めると約70%。日々の体育授業で「できる」「高まる」喜びを味わわせ、運動の楽しさを味わってきた結果と考えています。一方、低・中・高学年で、それぞれに運動に積極的でなく、すすんで運動する児童の割合の低下傾向が見られました。要因として、コロナの状況などが考えられます。体育学習の更なる授業改善、運動遊びの継続による体力向上、休憩時間の保障などにより、運動の楽しさを存分に味わわせ、すすんで運動に親しむ子供を育てていきます。

「Q13. 早寝早起き朝ごはん」では、「とても思う」「だいたい思う」が、低・高学年では約80%、中学年では90%以上。「思わない」という児童も、低・中・高学年にそれぞれ一定数いました。是非全ての子供に定着させた内容です。意義を指導し、家庭と連携して定着させていきます。

3. 外に開かれた学校・地域との連携

「Q14. 地域と一緒にいる行事が楽しい」では、「とても思う」「だいたい思う」が、中学年で90%以上、低・高学年でそれぞれ70%以上。コロナの状況の中、町会の皆様によるお囃子体験、もちつき体験、作物収穫体験など、限られながらも貴重な体験をできたことが子供たちの高い意識につながりました。コロナが終息次第、再び体験活動を行い、地域に見守られる喜び、地域とかわかる楽しさを感じさせていきます。

B. 保護者による評価・教師による自己評価

保護者による評価 調査期間 令和3年12月10日～12月23日 集計総数250通 回収率89.2%

教師による自己評価 調査期間 令和3年12月3日～12月17日 集計総数16通 回収率100.0%

◎ 教師による自己評価は4段階、保護者による評価は「わからない」を含めた5段階で評価しました。

◎ 数字は人数です。

◎ 各グラフ右側の数字は、その項目の評価の平均点です。 ※「わからない」は母数から除く

最上段が3年度 2段目が2年度

とても思う=4点 だいたい思う=3点 あまり思うわない=2点 思わない=1点

※ Aとても思う

※ Bだいたい思う

※ Cあまり思わない

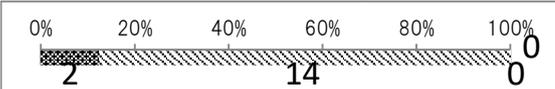
■ D思わない

※ Eわからない

1. 安全安心な学校

【教師による自己評価】

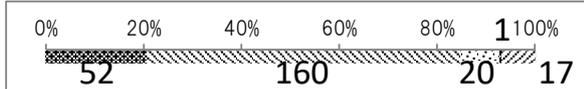
安全指導、組織的な安全対策など、子供の保健安全管理、危機回避のための対策をとれたか。



3.1
3.5

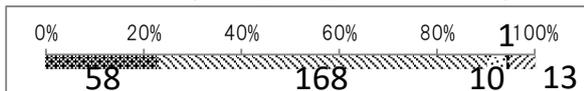
【保護者による評価】

不審者・災害対策、安全指導など、子どもの安全確保のための対策がとられている。



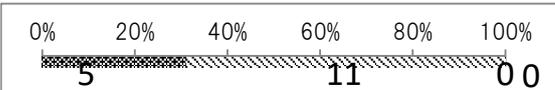
3.1
3.3

学校施設、教室環境など、安全で学びやすい環境が整っている。



3.2
3.3

いじめ、問題行動等を予防し、組織的に適切な対応ができたか。



3.3
3.3

いじめや問題行動に対して、適切な指導が行われている。



3.1
3.1

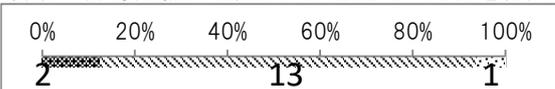
「Q. 安全指導・安全対策」「Q. 安全で学びやすい環境」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の80%以上。さらに安心できる環境づくりをすすめます。

「Q. いじめへの指導」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち約87%、一方、「わからない」が全体の16%。いじめへの指導は、デリケートな対応やプライバシー保護が必要な場合があり、全体の保護者には伝わりにくい領域です。状況を判断しながら学校組織での取組状況を伝えていきます。また、児童との面談、直接会話を増やし、児童理解、問題の未然防止、即解決の方針、家庭との情報交換、職員間の組織対応、等をキーワードに、いじめを生まない環境づくりを目指します。「練二小はいじめを絶対に許さない」という強い姿勢で、引き続き子供たちを見守り、適切な指導を行っていきます。

2. 新しい教育課程

【教師による自己評価】

新学習指導要領に確実に対応した教育活動を展開したか。



3.1
3.3

【保護者による評価】

効果や価値のある指導を随時取り入れ、新しい時代に必要な資質を育成している。



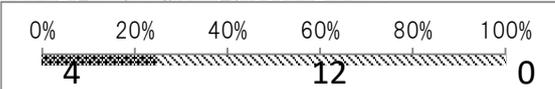
3.0
3.0

「Q. 新学習指導要領への対応・新しい時代の資質育成」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち約89%。教師による自己評価には、今年度の取組への一定の評価と同時に、教師の更なる向上意識もうかがえました。一方、「わからない」が全体の17%。新しい指導内容の本質をお伝えしていくのは、難しいことでもあります。今後も指導内容の本質をおさえ、積極的かつ確実に時代を取り入れた指導を行っていきます。

3. 教育目標「よく考え行動する子」

【教師による自己評価】

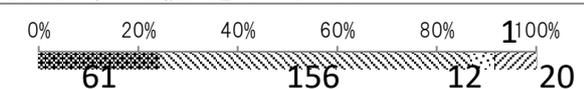
各教科・領域の基礎基本を確実に定着させ、自ら考え高まる楽しさを味わう授業を実践できたか。



3.3
3.1

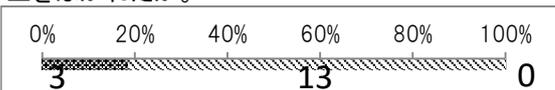
【保護者による評価】

基礎的基本的な学力の定着を図り、高まる楽しさを味わう授業、よくわかる授業を行っている。



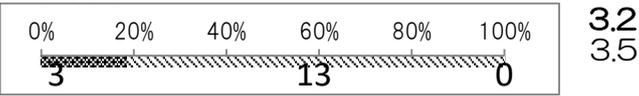
3.2
3.3

授業改善をめざした研究授業を行い、教師としての力量の向上をはかれたか。

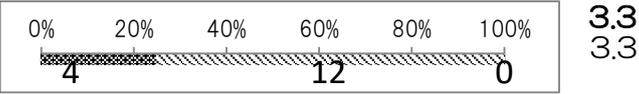


3.2
3.2

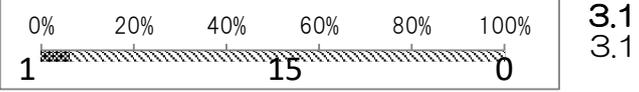
児童のよさを認め励ます指導、一人一人に応じた指導の実践はできたか。



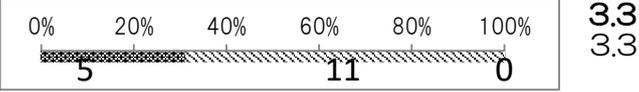
進んで発表し合い、高め合う授業を実践できたか。



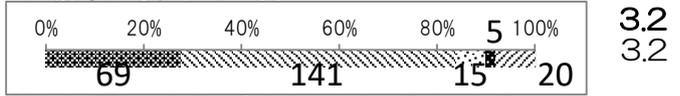
学習規律は定着してきたか。



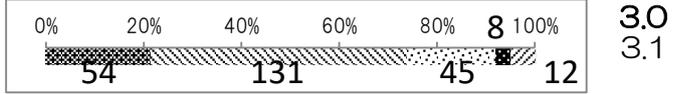
きたえの15分間朝学習は確実にできたか。



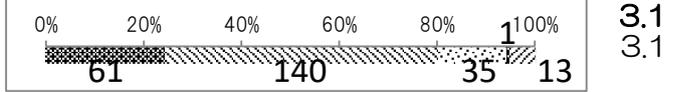
子供のよさを認め励ます指導、個に応じた指導、最後までやりぬく指導が行われている。



話をよく聞き、自分の考えをすすんで発表できる子になっている。



家庭学習が定着するように適切な指導が行われている。



「Q. 基礎基本の定着 高まる楽しさを味わう授業」「Q. よさを励まし、個に応じ、やり抜く指導」「Q. 考えをすすんで発表」「Q. 家庭学習の定着」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の80%以上。また、「Q. 基礎基本の定着 高まる楽しさを味わう授業」「Q. 授業改善・教師の力量向上」の教師による自己評価には、今年度の取組への一定の評価と同時に、教師の更なる向上意識もうかがえました。本校は令和2年度より、区教育課題研究指定校として算数科の校内研究に取り組んでいます。算数科授業を中心に更なる授業改善を図るとともに、授業中の机間指導と個別の声掛けの重視、定着をはかる家庭学習を中心とした家庭との連携、放課後個別指導の充実等、引き続き個に応じた指導を行ってまいります。基礎基本の学力定着のため、家庭学習へのご協力をお願いいたします。また、【児童による自己評価】でもお伝えしたとおり、考えを進んで発表することは、本校の課題でもあります。話すこと・発表することの個人差への対応を引き続き行ってまいります。

「Q. 学習規律の定着」の教師による自己評価には、一定の評価と同時に、更なる指導の必要性もうかがえました。学習規律を定着させてより高い学びができるよう、引き続き取り組んでまいります。

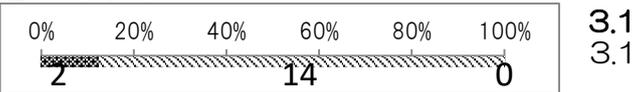
「Q. きたえ学習の確実な実施」教師による自己評価では、どの学年学級でも「きたえ算数」「きたえ国語」「きたえ読書」を確実に実施し、子供の力を高めていきます。

引き続き、よさを励ます指導を全ての教師が心がけ、わからなかったことをわかるようにすることで、全ての子供が笑顔で通える学校を目指してまいります。

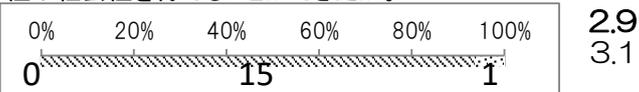
4. 教育目標「心ゆたかな子」

【教師による自己評価】

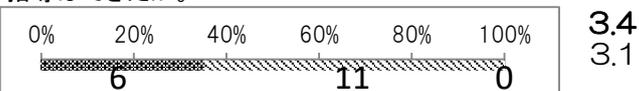
道徳の授業の充実をはかり、豊かな人間性の基礎を耕すことができたか。



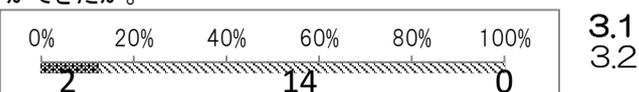
縦割り活動を中心とした異学年の交流を実践し、豊かな人間性や社会性を育てることができたか。



心が通い合う挨拶や丁寧な言葉遣い等、言葉を大切にした指導はできたか。

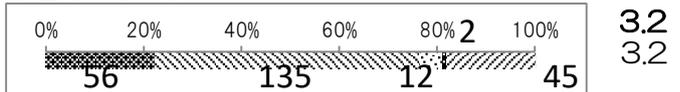


教師の指示の通る学級作り、自浄作用のある学級集団作りができたか。

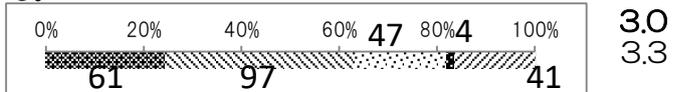


【保護者による評価】

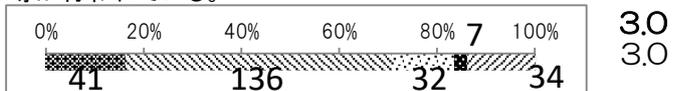
道徳の時間をはじめさまざまな指導を通して心の教育の充実が図られている。



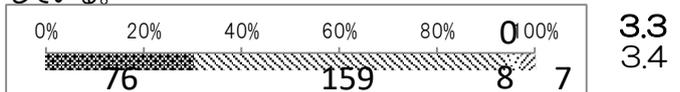
縦割り生活班等を通して異学年の交流が効果的に行われている。



心が通い合う挨拶や丁寧な言葉遣い等、言葉を大切にした指導が行われている。



集団生活での細かなルールも守り、友達と協力・共同して活動している。



「Q. 道徳の時間の充実・心の教育」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち93%。一方、「わからない」が全体の18%。また、教師による自己評価では、評価が分かれませんでした。今年度、コロナの状況でも可能な限り授業公開を行ってきましたが、残念ながら道徳授業地区公開講座を行わず、保護者の皆様が道徳授業を参観する機会は十分ではありませんでした。令和4年度も、積極的な授業公開、学年だより等での授業紹介、ホームページでの日常の子供の様子の紹介等で、お伝えしていきます。

「Q. 縦割り活動・異学年の交流」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち76%。一方、「わからない」が全体の16%。今年度は、行事として十分な縦割り交流が図れませんでした。その中で、異学年が日常生活で友好的にかかわることができるように本校の特色である縦割り交流の場を設定し、活動を工夫していきます。

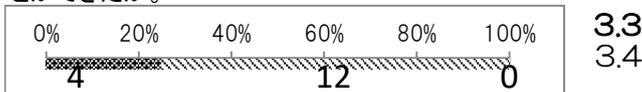
「Q. あいさつや言葉遣い」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち82%。【児童による自己評価】では、児童のあいさつの意識は高く、「子供はあいさつしているが大人の期待ほどではない」「子供の言葉遣いがよいと大人は感じていない」という可能性が考えられます。コロナ禍の現在、場や取組のシステムを変えて、あいさつへの取組を全校で行っています。引き続き令和4年度も、子供のあいさつ運動を実施するとともに、教師自身が手本となってあいさつやていねいな言葉遣いで子供と接する、教師から積極的にあいさつする、場面を逃がさず指導する、等、全校体制で取り組みます。あいさつの向上には家庭、地域のご協力が不可欠です。ご協力ください。

「Q. 集団生活のルール 協力共同しての活動」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち97%。引き続き高い意識をもてるよう、子供たちをしっかりと見守っていきます。

5. 教育目標「健康でたくましい子」

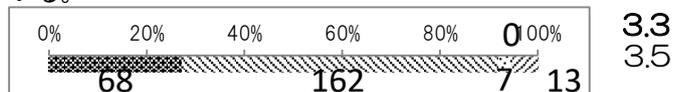
【教師による自己評価】

すすんで運動に親しみ健康な身体づくりをする態度を養うことができたか。

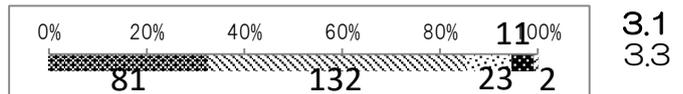


【保護者による評価】

保健指導や体育授業等を通して健康な身体づくりに取り組んでいる。



「早寝・早起き・朝ごはん」を習慣化できている。



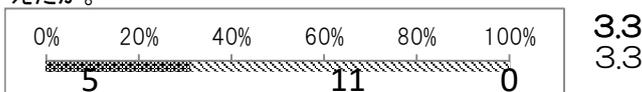
「Q. 健康な身体づくり」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち約97%。一方、【児童の夜自己評価】の「Q12. すすんで運動する」では、運動に積極的でない児童が一定数いました。健康な身体づくりの柱は「体育授業」「運動遊び」「体育的活動」です。今年度は、コロナ禍の中での外遊びの質・量・幅の検討、体力テストの結果をもとにして学級での課題をとらえて授業改善、体育的活動の再考に取り組みました。令和4年度も、引き続き運動の楽しさを味わわせていきます。なお、健康な心と体につながる「教室での正しい姿勢」を確実に身に付けられるよう、繰り返し指導していきます。

「Q. 早寝 早起き 朝ごはん」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち86%。一方、全体の10%がよい評価とは言えませんでした。【児童による自己評価】でもお伝えしたとおり、全ての児童がよい評価であってほしい項目です。家庭と連携しながら繰り返し指導していきます。

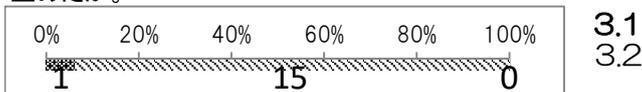
6. 外に開かれた学校・地域との連携

【教師による自己評価】

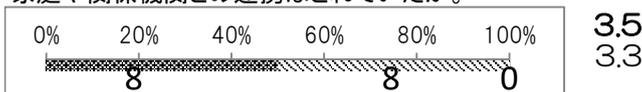
学校公開、学年・学級通信等を通して学校の様子を外へ伝えたか。



保護者会や感想アンケート等を通して、保護者の意見を受け止めたか。

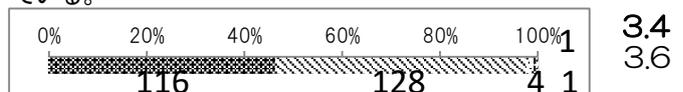


家庭や関係機関との連携はとれていたか。

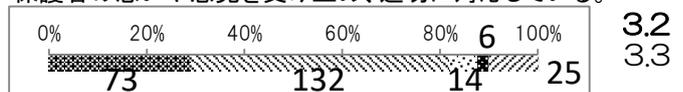


【保護者による評価】

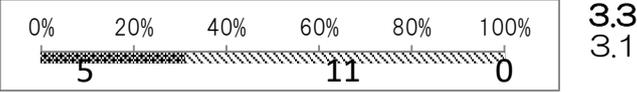
学校公開、行事、学校だより等を通して学校の様子が伝えられている。



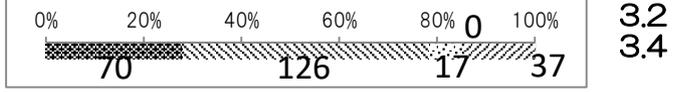
保護者の思いや意見を受け止め、適切に対応している。



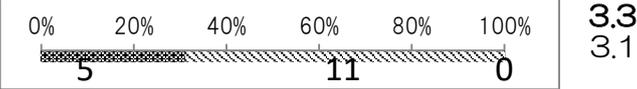
地域の人材活用、地域の教材化、地域行事への参加等はできたか。



保護者や地域の教育力を生かした教育活動が行われている。



日本の伝統文化に親しむ活動ができたか。



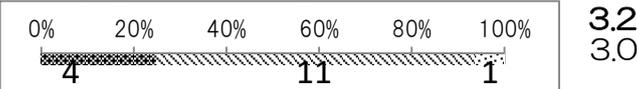
「Q. 学校の様子を伝える」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち98%。分からないは1%以下でした。引き続き令和3年度も、学校ホームページ、学校だより、学年・学級通信の充実を継続し、積極的な公開を行っていきます。

「Q. 保護者の思いを受け止め適切に対応する」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち91%。「Q. 家庭や関係機関との連携」の教師による自己評価では、今年度の取組への一定の評価がうかがえました。一方、「Q. 保護者の思いを受け止め適切に対応する」における保護者による評価では「わからない」が全体の10%。引き続き、保護者へのていねいな説明・連携や、支援の必要な児童に対する組織的な対応を行っていきます。加えて、保護者会や個人面談での意見交換、学校評価や行事での意見交流、そして、これらの意見を受け止めた上での学校からの発信を大切に、更に学校を開いていきます。

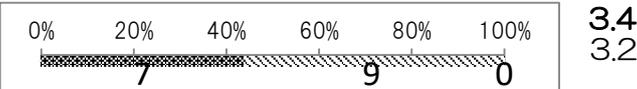
「Q. 保護者地域の教育力を活かす」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち92%。また、教師による自己評価では、評価が分かれませんでした。同様に、「Q. 日本の伝統文化に親しむ」における教師による評価も、評価が分かれませんでした。コロナの影響で行事や活動が縮減、中止となりましたが、地域の皆様の力をいただいた行事や活動を行うことができたことが、高い評価につながったと考えています。地域と共に歩む練二小、引き続きコロナ禍での工夫をしながら、さらに地域の方に協力いただける学習材の開発、ボランティアの充実をし、保護者地域の教育力を活かした活動やゲストティーチャー授業を行い、その様子をわかりやすく広報していきます。

7. 内に開かれた学校 【教師による自己評価】

教育目標を共有化し、組織を生かした活動ができたか。



合同授業・TT指導・専科教諭との協力はできたか。



他の職種との相互尊重と連携ははかれていたか。



「Q. 教育目標の共有化と組織活動」の教師による自己評価では、今年度の取組への一定の評価と同時に、教師の更なる意識の向上もうかがえました。「Q. 指導での協力」の教師による自己評価では、教師による一定の評価がありました。今年度も、学習指導を中心とした担任と専科での連携が図れたと考えています。また、「Q. 他職種との相互尊重・連携」の教師による自己評価では、評価が分かれませんでした。今年度も、異なる職種での互いの協力体制、連携を大切に、学校運営をすすめてきました。令和4年度も引き続き『チーム練二』を合言葉に、特別支援教室、生活支援員、心のふれあい相談員、スクールカウンセラー、養護教諭、担任、専科の特別支援での連携をはじめ、栄養士や給食調理との給食での連携、用務主事や事務主事との施設環境面での連携、外部関係機関・保護者・地域との情報連携を確実に行っていきます。

C. 保護者による自由記述 ～ 一部をご紹介します ～

- ・異学年との交流 コロナ禍において、クラブ活動やなかよしタイムなど交流の時間を割いていただき有り難い。
- ・HPにて子供たちの表情や取組内容、学級通信にて子供たちの感想や言葉を詳しく知る事が出来ている。
- ・今回のGoogleフォームは手書きをするより楽だった。
- ・コロナ禍で、色々なことをできる範囲でやってくださり、ありがとうございました。
- ・入学して9ヶ月でできることがたくさん増えて嬉しく思う。これからもよろしく願います。
- ・算数の授業が分かりやすく教えてくださると言っていた。
- ・いじめ防止アンケートが毎月あることがとても心強く、ありがたいと思っている。
- ・身近な問題を取り上げ、意見を言い合い、違う意見を知る、認める、相手の立場になって考えることなど、授業に取り入れてほしい。
- ・学校公開時間も短く、まだいろんな事がコロナ禍で不透明なところが多い。子供を通じて感じるものや全くわからないものが多い。これからの期待します。
- ・朝の登校班で誰一人挨拶をしてくれない。こちらは毎日声かけしているが、改善されず悲しい気持ちになる。
- ・学力向上や定着のためなのか、宿題やプリント類が多いと感じる。学校の授業を丁寧なされているのが伝わってくるので、個人的にはそれでも十分かと思っている。子どもたちに少し余裕がなくなっている気がする。
- ・防犯の観点から、体育着に名前を大きく入れるのは、ない方がいいと思う。
- ・大人が学校へ入る場合のセキュリティを厳しくしてほしい。保護者カードをかけてるだけで誰でも入れるのは心配。
- ・コロナ禍で様々な事が変化せざるを得ない状況で、保護者と学校、生徒間、地域と生徒など、以前は存在していた関わりが無くなってしまったのは残念。ただ、この状況下でそれぞれの立場でみなさん尽力して頂いていると思う。
- ・集団登校で親が2か月に3回付き添うのが、仕事で時間休暇を毎回取らないといけなくて、負担になっている。
- ・まだコロナ禍で学校との接点が少なく、文章だけでは実感はできていない。これからのふれあいで感じていきたい。
- ・毎日我が子は楽しく学校に通っている。ひとえに先生方のおかげと存じます。今後ともどうぞよろしく願います。
- ・1年生で保護者の私自身も初めての小学生保護者ということもあり、不安だらけだったが、毎日本人は楽しく行っているみたいなので一安心。個人面談でも先生のお話を聞いて、本当によく子供の事を見てくださってくれていて感謝しています。
- ・学年が上がるにつれ、勉強はもちろん、友人関係などでも苦労する事もあると思うが、学校の方針を信じ、保護者として適度な距離感で見守り続けたいと思う。
- ・コロナ禍で学校に行く機会も少なく、娘の様子や報告のみでは、どのように学校運営をされているかわからないところが多くある。
- ・互いに仲が良い学年で有意義な学校生活を送らせていただいている。担任の先生に信頼感もあり感謝している。
- ・タブレットを配布したが、あまり活用されていないと感じる。
- ・道徳の授業は、どんなことを指導しているかわからない。
- ・宿題の定着が、まだできていなくて、必然的に寝るのが遅くなってしまふ。
- ・給食のレシピなども教えていただけたら嬉しい。
- ・先生が子供の様子などをよく知らせ下さって、とてもありがたい。
- ・友達と親への言葉遣いが一緒のときがある。「～いってんじゃん」「謝ってるじゃん」など
- ・放課後でも構わないので、補習などを充実してほしい。
- ・早寝早起きについては、口うるさく注意しているが、時として難しい場合がある。学校からも、生活習慣の大切さを論じていただければありがたい。
- ・子供からの話だけなので、よく分からないが、声掛けが多いとは感じない。よかったことも、こうしたら良くなるということも、声をかけてほしい。
- ・例えば、運動会の保護者の意見に対して、「～という理由でこうせざるを得なかった」の回答が目立った。「今後は、意見を反映して、～のようにしてきます」という発展的な回答が見られない印象だった。
- ・挨拶ができる子が多く、とても素晴らしいと思う。一方で、言葉遣いの悪い子が多いことは気になる。
- ・コロナのため、葉かげの集いやランチルームでのランチなどが行えていない。早くできるといいですね。
- ・学校公開や行事は、コロナで中止になり仕方ないところもあったが、こういう時こそ、HPをもっと活用してほしい。
- ・丁寧な言葉遣いは、反抗期が近いのか、友達が話すから使うのか。たまに、聞き直すことあり。
- ・学校のホームページにて、他学年の日常を見ることができて楽しい。

今回も保護者評価にご協力いただき、深くお礼申し上げます。特に本年は約90%のご家庭から回答をいただくことができました。毎回の行事感想でもご協力いただいているとおり、皆様と共につくっていく練二小です。来年度以降も90%以上の回収率を目指し、いただいたご意見を生かし、引き続き学校改善をしていきます。令和4年度も本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。